

中
3
年
里

西園 里津

15歳は島立ちを前に「ワクワクしている。楽しそう」と期待を込めた。部活は卓球部に所属。引退までやり切った。クラスではムードメーカー的な役割を担い、目指す人物像について「話していて楽しいと思えるような、面白い人になりたい。友達をたくさん

つくりたい」と仲間
に囲まれた未来を思
い描く。

趣味は父から教
わった釣り。見よう
見まねでさばき方も
覚えるほど、その魅
力にはまった。抱い
た将来も海に関わる
こと。

「夢は豪華客船の
航海士。世界を周り
たい。特にバチカン
市国に行ってみた
い。宗教的なでつか
い建物を見てみた
い」

島立ちしてそれ
ぞれが別々の道を
歩む。寂しさもある
が、「帰ったらみんな
で話したい。その
ときは航海士とし
て」と、大きな夢を
実現させ、立派に
なって帰ってくる。

「寂しいよりも不安の方
が……。でも、楽しみの
方が大きい！」

愛嬌のある笑顔からは、
島立ちへの期待が語られ
た。スポーツ万能で、進学先
は小2から続けている卓球
の実力を買われ決定した。

高校のコーチからはプレッ
シャーを掛けられ「(県の)
ベスト16は当たり前」って
言われてます」とさらなる
練習に励む予定だ。

15年間過ごした島。家族、

仲間と過ごした大好きな
場所。そんな場所だからこ
そ、将来は帰ってきたいと
いう。「夢は美容師になり
たい。本土にお店を開い
て、島でも(店を)やられ
ばな」。

5年後は成人式。離れ離
れになった仲間とも会う
ことができる。「みんなに
会いたいですね。ウオッ
カとかウイスキーを飲み
たいです」と再会を楽しみ
に、島を旅立つ！

仲間と過ごした大好きな
場所。そんな場所だからこ
そ、将来は帰ってきたいと
いう。「夢は美容師になり
たい。本土にお店を開い
て、島でも(店を)やられ
ばな」。

中
3
年
里

梶原 菜乃葉

お母さまが甕島出身

薩摩川内観光大使
塚地武雅さん

地元を離れ、親元も離
れ、不安な気持ちもたく
さんあると思います。で
も、別の土地で暮らして
みると、たくさんの発見
もあります。
どうか希望を持ち、新
しい土地で、新しく知り
合う人々と、たくさん新
しいことを学んでくだ
さい！
そして、地元の良さも
改めて知れるといいで
すね。ずっと心配してく
れている家族のことも
忘れず、強い自分になっ
てください。
がんばれ!!

旅立つ子供たちへ